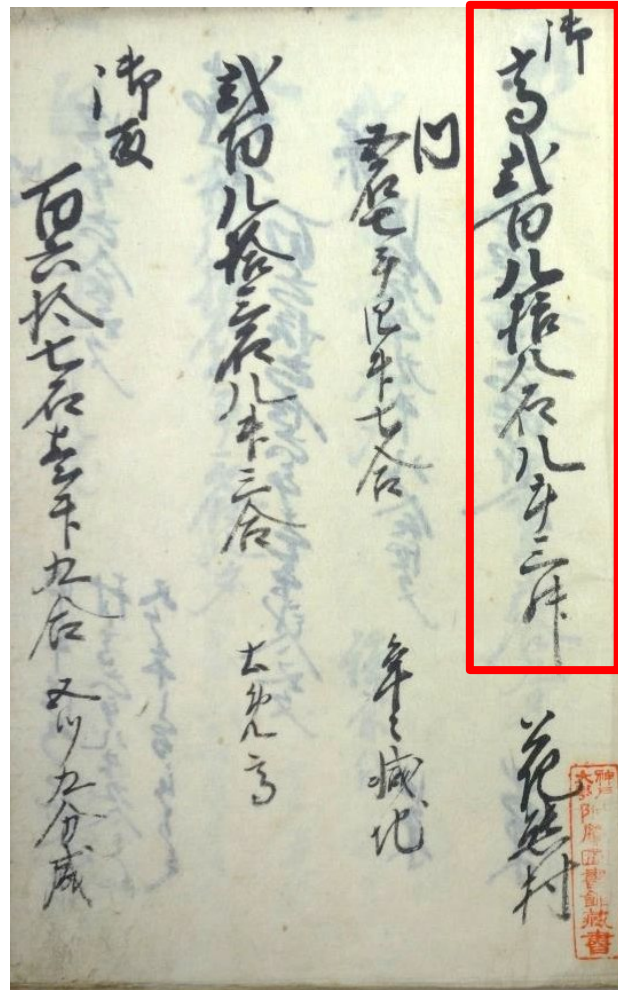


明和4年(1767):288.830石



御高式百八拾八石八斗三升

村名	石
花熊村	288.830
上部(神戸)村	424.410
二ツ茶屋村	67.623
宇治野村	172.000
北野村	180.670
中宮村	35.000

(新保博著『封建的小農民の分解過程』
p23 第2表を参考に作成)

「明細帳(花熊村の明細の書上)」
明和4亥年5月(1767)

村高変遷の経緯

- 文禄3年(1594) 検地で村高288.830石となる
- 享保3年(1718) 開発田の調査により、開発田(4.820石)および屋敷(0.573石)が指摘され、
元来の年貢とは別に支払うこととなる
- 明和6年(1769) 上知後に二つに分けられていた年貢が統一となり、合計294.223石となる
- 明和8年(1771) 検地により0.135石が追加となり、294.358石となる